

日時

令和8年10月24日(土) 15:00～17:20

実施場所

山梨県医師会館 1階 講堂(甲府市徳行5-13-5)

or

Zoomによるオンライン配信

申込方法

裏面をご確認ください。

研修内容

15:10～16:10

【日医生涯教育講座：1単位、CC7】

【専門医共通講習－医療安全：1単位】

『医師・弁護士の視点から考える医療安全と法的責任
—医療訴訟の現状と現場が備えるべきこと—』

国立大学法人浜松医科大学医学部

医療法学 教授 大 磯 義一郎 先生

1999年以降、医療事故への過度な刑事介入は医療従事者の萎縮や医療崩壊を招いたが、2008年の福島県立大野病院事件判決を転機に刑事介入は沈静化した。本講演では、2024年5月に言い渡された東京女子医大プロポール投与事件判決を題材に、医療刑事訴訟の現在地を整理する。同判決から明らかとなった点として、①民事責任と刑事責任の性質の相違、②刑法の謙抑性が判断過程においてどのように具体化されているか、③「医療と司法の相互理解」の重要性が挙げられる。現在においては、医療現場が過度に萎縮する必要性は低下している。かつて揶揄されたJBM (Judgement-based medicine)から脱却し、真に患者のための医療安全が求められる。

*本件は控訴中であり、結論自体について判断しているものではない。

16:20～17:20

【日医生涯教育講座：1単位、CC0】

『医師のための生成AI活用術—日常診療から研究まで』

近畿大学医学部皮膚科学教室

主任教授 大 塚 篤 司 先生

生成AIは、文書作成、要約、翻訳、情報整理といった医師の日常業務を支援する道具として、すでに実用段階にある。本講演では、ChatGPTをはじめとする生成AIについて、日常診療・研究・教育の場面で「今日から使える」活用法を、実例を交えて具体的に紹介する。紹介状や患者説明文書の作成、学会スライドや論文執筆の効率化、文献の要約といった実践例を示すとともに、患者情報の取り扱い、ハルシネーション（もっともらしい誤り）への備え、施設での運用ルールなど、安全に使うための注意点を整理する。AIは医師に取って代わるものではなく、医師が患者と向き合う時間を取り戻すための道具である。診療科を問わず、明日からの診療に持ち帰れる内容をお届けしたい。

申込方法

事前申込が必要ですので、10月16日(金)までに下記のいずれかの方法でお申し込みください。

①右の2次元コードより申し込み



②山梨県医師会ホームページより申し込み

※トップページのお知らせ「令和8年度日本医師会生涯教育講座の開催について」からご確認ください。

③下記の様式にてF A Xにて送付

※zoom参加者には開催前日までに招待メールを送付いたします。

Web配信に接続するPC等は1人につき1台までとします。

令和8年度日本医師会生涯教育講座 参加申込書

開催日 令和8年10月24日(土)
開催場所 山梨県医師会館 1階 講堂

会場参加 ・ Web参加
(希望する欄に○をつけてください)

所属医師会

医療機関名

氏 名

電話番号

メールアドレス

申込締切 10月16日(金)

※締切日以前でも、定員になり次第締め切らせていただきます。